

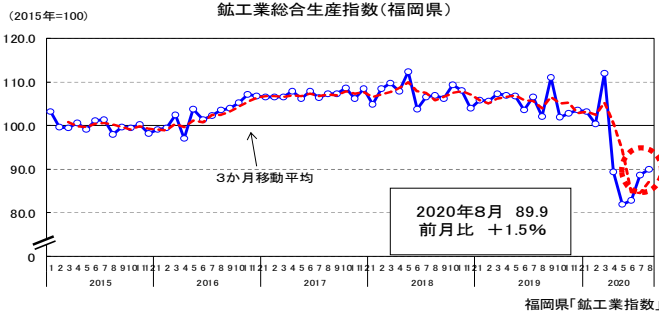
ふくおかの経済

令和2年10月号



生産 持ち直しの動きがみられる。

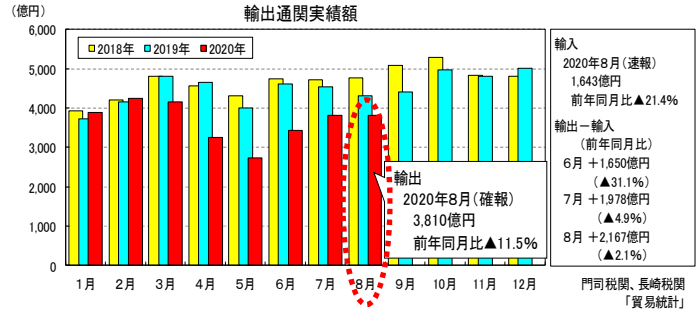
8月の生産指数は、輸送機械工業などの上昇により3か月連続で前月を上回っています。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易 輸出は、持ち直している。
輸入は、おおむね横ばいとなっている。

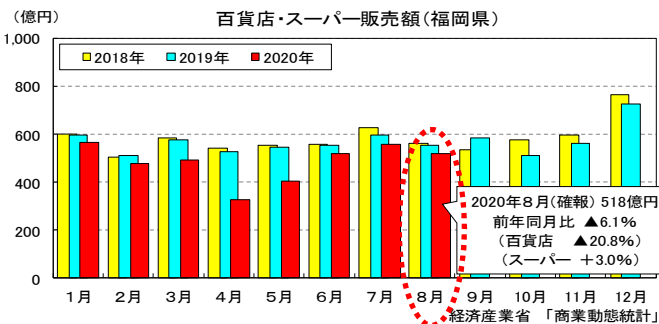
8月の輸出は、半導体等電子部品などの減少により6か月連続で前年を下回ったものの、前年同月比の減少幅は7月から縮小しました。



門司税関、長崎税関「貿易統計」

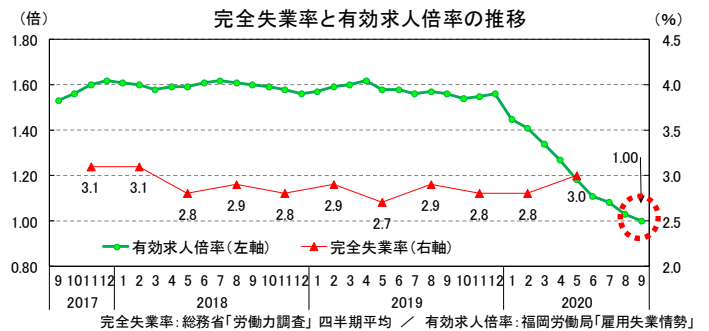
消費 持ち直している。

8月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、11か月連続で前年を下回りましたものの、前年同月比の減少幅は7月から縮小しました。



雇用 引き続き、求人が減少するとともに、求職が増加している。

9月の有効求人倍率は1.00倍で、前月を0.03ポイント下回りました。

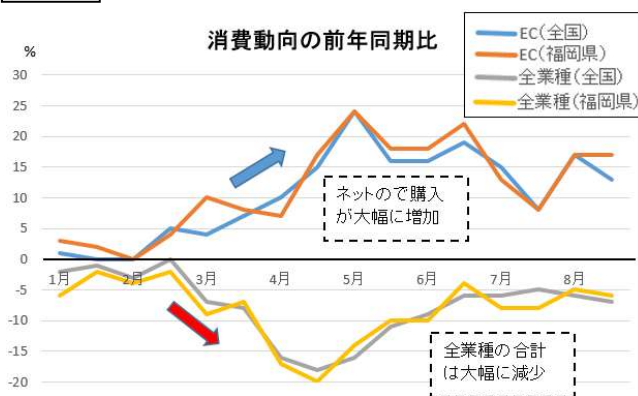


「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のピックアップ コロナ禍で増加するネットショッピング

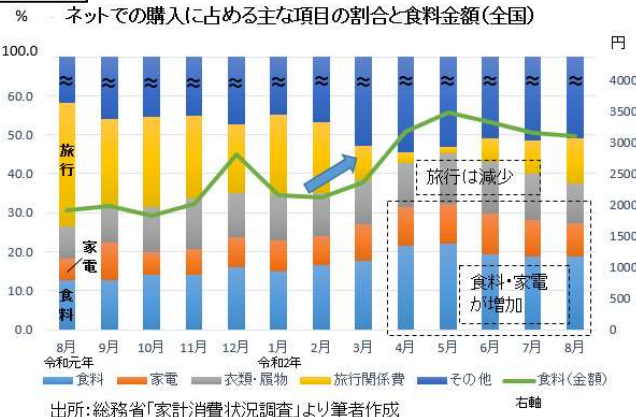
- 内閣府は、新型コロナウイルス感染症の影響を可視化するために新たな地域経済分析システム「V-RESAS」を公開しています。
- このシステムを利用して、コロナ禍での人々の消費の動向を調べてみたところ、臨時休校が要請された2020年3月以降、外出自粛の影響もあり、店舗での消費が大幅に減少するなか、ネットショッピング(EC)が大幅に増加していることがわかります(図表1)。
- ネットで購入されている主なものの動きをみると、旅行関係が減少する一方、食料や家電が増加しています。食料には、「出前」も含まれており、ウーバーイーツなどの宅配サービスが普及していることも見て取れます(図表2)。
- コロナ禍で広まったネットショッピングが、一時的なものではなく、今後も続いていくとすると、配送の仕事がますます増える一方、実店舗である小売店に影響するなど、私たちの生活環境が変化していくのかもしれない。

図表1



出所:内閣府V-RESAS

図表2



出所:総務省「家計消費状況調査」より筆者作成